

カール・ハンセン&サン プレスリリース | 2022 December

名作デザインに囲まれた歴史を感じる空間 フン島 HellerupのMANOR HOUSE



1958年に創業したデンマークの家具メーカー、カール・ハンセン&サンの3代目、クヌッド・エリック・ハンセンがCEOに就任して、2022年秋、20周年を迎えました。

カール・ハンセン&サンに歴史があるように、クヌッド・エリック・ハンセンが暮らすフン島 Hellerup（ヘレロップ）にある邸宅 MANOR HOUSE（マナー・ハウス）にも長い歴史とストーリーがあります。

1670年にHellerup（ヘレロップ）領主の城 Hellerup城として建造された現在のMANOR HOUSEの重厚な白い壁の向こうには、流れた時代の物語が刻まれています。この建物はハンセン家の住まいとしてばかりでなく、ハンス J. ウェグナー、オーレ・ヴァンシャー、モーエンス・コック、コア・クリントといった巨匠デザイナーたちの数々の名作に遭遇できる貴重な場所となっています。

* ご取材もお受けしておりますのでお気軽にお問合せください。

Hellerup（ヘレロップ）城の歴史

デンマークの首都コペンハーゲンから西に約180キロ、童話作家 H.C.アンデルセンの生まれた場所としてよく知られる緑豊かなフン島にHellerup城は位置しています。

ノルウェー・デンマーク・スウェーデン国王 Eric of Pomerania (1382-1449)とポーランド国王 Vladislav II世 (1351-1434)によって1419年に交わされた調印書に記載された小さな集落の名が由来となった由緒正しい城です。集落は消滅したものの、現在も当時の美しさを保つ Hellerup教会が残っています。この教会は1200年頃に建造された典型的な地方の教会で、現在も古代ローマ時代の様式を残し、Hellerup城に隣接しているため、そこに属する教会とよく間違えられますが、1960年に当時の所有者がデンマーク国家に寄贈するまでは、この教会はHellerup城の敷地の一部でした。現在も教会として人々に慕われているHellerup教会ですが、中世から今日に至るまでこの地を統治した貴族と教会の強いつながりを表しています。現在も、Hellerup城の西側の窓の外からは美しい教会の姿を見ることができます。

現存する最も古い部分は、1670年、ドイツの役人だった Johan Christoph von Körbitzによるもので、北棟に建造された半地下と地上2階からなるレンガ造のバロック様式の建築です。城の中心部の建物は度重なる改修、特に18世紀に行われた大規模な改修工事により現在の外観となっています。当時あった階段塔が取り壊され、対階段、正面玄関を伴う東棟が追加されています。

クヌッド・エリック・ハンセンは、2002年にこの保存指定を受ける城を所得。その後大規模な改修工事を行いました。2012年から2014年に行った改修工事では、屋根全体の下にあった12のアーチ形のロフトを改築する大規模な改修工事を実施しています。



Hellerup（ヘレロップ）城の敷地

敷地はL字形で建物の周囲を堀が囲み、3万平米の青々とした庭がその外に広がっています。何世紀にも渡りRantzau、Bild、Bølle、Urne、Brockenhuus、von KörbitzそしてSehestedt Juulといった数々のデンマーク貴族がここに暮らしてきました。いずれもデンマーク王室と深く関わる名家ばかりです。そして、2002年にカール・ハンセン&サン社のCEO、クヌッド・エリック・ハンセンがこの城を購入。この歴史ある土地建物を守り、次の世代に残していく役目を引継いでいます。

クヌッド・エリック・ハンセンを魅了したHellerup城

クヌッド・エリック・ハンセンが初めてこの歴史ある城を訪れた際、建物自体はあまり良い状態ではないながら、見た瞬間に購入を決意しました。城の修復と改装を担当したのは、歴史的建造物の修復を専門とする建築家Bue Beck（ブーエ・ベック）、そして、デザインスタジオ VAAGの Thomas Hillerup（トーマス・ヒレロップ）。この城の威厳と意義を保ちながら、デンマーク歴史建造物法に従って慎重に修復が進められました。デンマークでは文化庁が文化的、歴史的に重要な建造物を保護しており、指定された建造物の改装、修復には数多くの条件が課せられています。

「関係当局とのやり取りはもちろんです、こうした建物の修復にはどうしても優れた専門の建築家の力を借りなければなりません。」と自らも数々の歴史的なデザインを残すことに努め、その本質や歴史を継承することの重要性を認識しているクヌッド・エリック・ハンセンは述べています。

古代様式的な簡潔さを際立たせる、白漆喰が施された外壁。屋根には赤レンガ、壁にはオリジナルの窓が左右対称に配置されています。建物の壁の厚さは1メートル。内壁には白いラッカーを施した木製パネルが張られ、天井にはモールディング、床は幅の広い木材を使ったフローリングは、典型的なスカンジナビアのスタイルと欧州の高級感をミックスしたインテリアと言えます。クヌッド・エリック・ハンセンはこの歴史的な建物に、妻と二人の子どもたちと引っ越しました。現在は、家を離れた子ども達に代わり、ラブラドルとジャーマンシェパードと暮らしています。

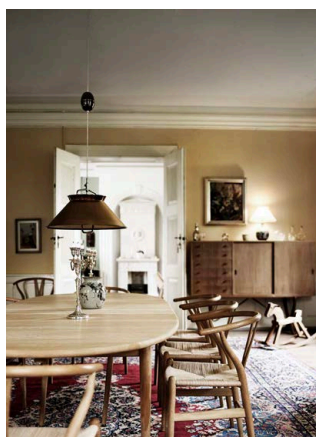
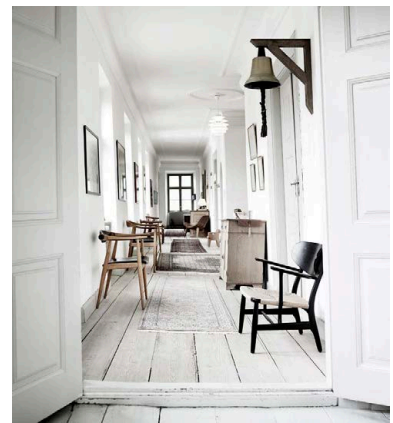
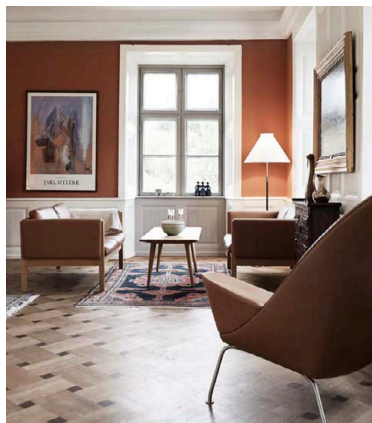


名作デザインに囲まれた歴史的なHellerup城の空間

床面積1600㎡にも及ぶHellerup城は、ハンセン家の暮らす自宅としてばかりでなく、カール・ハンセン&サンヤルド・ラスムッセン家具工房が製作した家具をはじめとする数々の名作デザインが並ぶ特別な場所でもあります。1869年に創設されデンマーク最古の家具工房と言われるルド・ラスムッセン家具工房は、2011年にカール・ハンセン&サンのグループに加わりました。両社とも最高級の家具を製作する点が共通していましたが、ルド・ラスムッセン家具工房の製品がカール・ハンセン&サン社の名作コレクションに相応しいことが、グループに加わることの大きな理由となりました。

Hellerup城には、世代を超えて継承され、それぞれが歴史とストーリーをもった貴重な家具が並びます。数々のハンスJ. ウェグナーの名作をはじめ、オーレ・ヴァンシャー、モーエンス・コック、モーエンス・ラッセン、ポール・ケアホルム、さらにフリッツ・ヘニングセンの歴史的な傑作などが揃います。また、デンマークのデザインデュオ、ストランド&ヴァス、トーマス・ボー・カストホルム、そして日本の建築家、安藤忠雄など、巨匠デザイナーの作品と共に今日のデザイン界を牽引するデザイナーの家具も並んでいます。

世界各国で販売される製品ばかりではなく、貴重な試作品もここには並んでいます。そのほとんどがクヌッド・エリック・ハンセンの父、ホルガー・ハンセンとハンスJ.ウェグナーの協働が開始された頃に製作されたものです。プロトタイプのみで生産ラインに乗らなかったデザインや、ハンセン家に代々継承されてきた家具もこの城の大事な家宝となっています。21年間に渡りデンマークの船舶企業イースト・アジアティック社に勤務（南アフリカに4年間、シンガポールに14年間、中国、香港に駐在）し、世界各地を旅したクヌッド・エリック・ハンセン。各地で収集したアンティークや調度品がアクセントとなり、住まう家としての温かみをインテリアに与えています。



人の住まう家としてのHellerup城

イングリッシュレッド、グリーン、そして黄土色と、18世紀にデザインされた各居間の壁には、異なる色が使用され、ソファや読書コーナーを設け、いずれも機能的で心地よい空間となっています。クヌッド・エリック・ハンセンが最も重点を置いたのは温かみのある家庭的な空間を作ること。人の背丈にあった天井など、この建物が人の住まう家としてのスケールからかけ離れていなかったことが功を奏しています。城内には全40室あり、それぞれが温かい家庭的な雰囲気でも包まれています。

広大な床面積を誇る城ですが、クヌッド・エリック・ハンセンが購入した時は、寝室は9つ、バスルームはたった1つしかありませんでした。後に、バスルームは5つに増設。現在は商談の場所として、各国からのゲストを迎える場所としても使用できる機能的な場所になっています。

2012年から2014年にかけても改装を行い、新たにロフト部分に500㎡の居間とゲストルームを増設。パイン材の梁がむき出しになった粗削りな天井裏に、心地よい空間が広がっています。通常より長く、幅広に木取りしたフローリングを使用した床、傾斜した内壁、梁がむき出しの天井。仕切りの無いオープンオフィス・スタイルを取り入れたこの空間は、配置された家具によって書斎など空間の機能が決められています。彫刻作品を思わせる天井を突き抜ける白い4本の大きな煙突が、空間のアクセントとなっています。

Hellerup城のプライベートと来客スペース

ハンセン家が暮らす生活の場所としての建物でありながら、家族だけが使用する私用空間と商用空間の線引きが自然に出来上がっています。家族だけが使用しているスペースの一つが、庭に直接アクセスできる1階部分のキッチン。新設のロフトと同様、ここは家族のお気に入りの場所です。2匹の犬が庭と屋内を自由に行き来できる場所。小さな橋を渡るだけで堀の向こうに広がる庭に出ることができます。一日の終わりに忙しい日を過ごした家族が集うのもこのキッチンです。部屋によってよく使う部屋と使わない部屋あるものの、Hellerup（ヘレロップ）城は、アクティブで家庭的な温かさをもつ場所。モダンなライフスタイルが息づく歴史的な空間となっています。

「私のお気に入りには、500㎡のロフト空間です。居心地がよくて、とても温かい場所。家の中で最も気に入っている場所の一つです。」

クヌッド・エリック・ハンセン





Hellerup (ヘレロップ) 城詳細

場所：デンマーク、フィン島

建物床面積：地上 1,600㎡、地下500㎡、敷地30,000㎡。

Hellerup城の住人

クヌッド・エリック・ハンセン（カール・ハンセン&サン社 CEO）

インガー・イェンセン・ハンセン（ハンセン氏夫人、オーデンセ大学病院元医師）

ジャーマンシェパードのアッシー&ラブラドルのベラ

Press Image

<https://carlhansen.presscloud.com/digitalshowroom/#/selection/286680785532215>

プレス関係のお問合せは下記までお願いいたします。

カール・ハンセン&サン ジャパン株式会社

ブランド コミュニケーション マネージャー 阿部理歩 AYAHO ABE MAIL : ayab@carlhansen.jp

カール・ハンセン&サン ジャパン PR SUPPORT

株式会社ハウ MAIL : chs_pr@how-pr.co.jp TEL : 03-5414-6405